

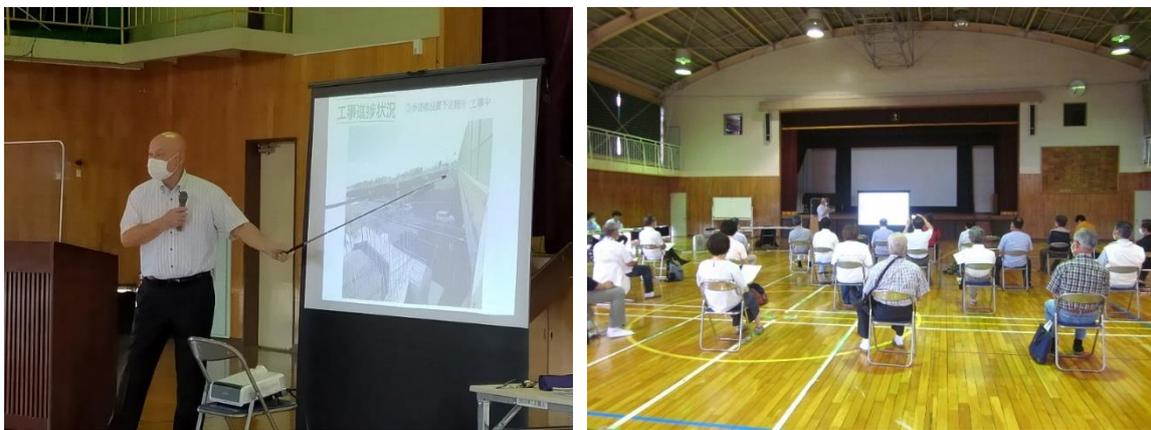
三芳町まちづくり懇話会 報告書

令和4年度（2022.8）

1. まちづくり懇話会 概要報告

住民の皆さんの声を町の政策形成に反映させるため、各行政連絡区のご協力のもと、まちづくり懇話会を開催しました。2日間合計で100人以上の方にご参加いただきました。今年度は町からの情報発信として「新型コロナ対策」「第6次総合計画の策定」「みよしフォレストシティ構想」等について町長より説明をしました。

その後の意見交換の時間には、会場から活発なご意見やご質問をいただきました。いただいたご意見は、今後のまちづくりへ活かし、町の政策形成に反映してまいります。

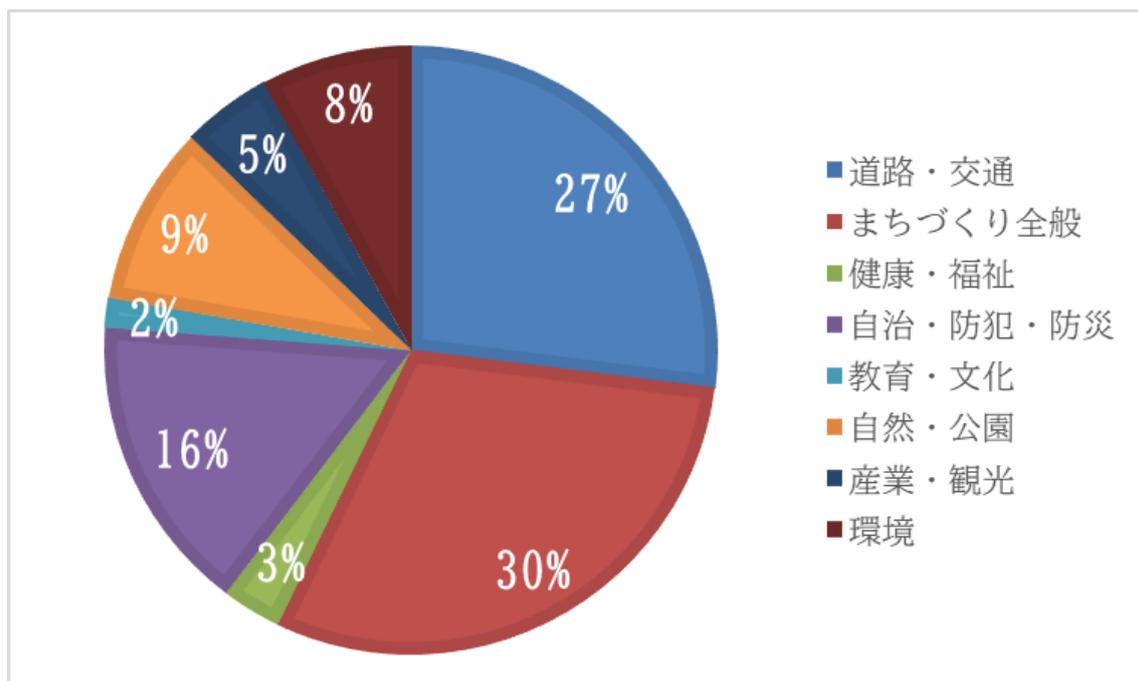


参加人数

開催日		開催時間	行政連絡区	開催場所	参加者数 (人)
6月	18日(土)	10:00~11:30	藤久保2区・3区	藤久保小学校体育館	16
		13:00~14:30	藤久保5区・6区	藤久保小学校体育館	13
		15:30~17:00	藤久保1区・4区	唐沢小学校体育館	24
	19日(日)	10:00~11:30	北永井1区・2区・3区	中央公民館	20
		13:00~14:30	上富1区・2区・3区	上富小学校体育館	19
		15:30~17:00	竹間沢1区・みよし台1区	竹間沢小学校体育館	31
				参加者数合計	123
				一会場あたりの平均	20.5

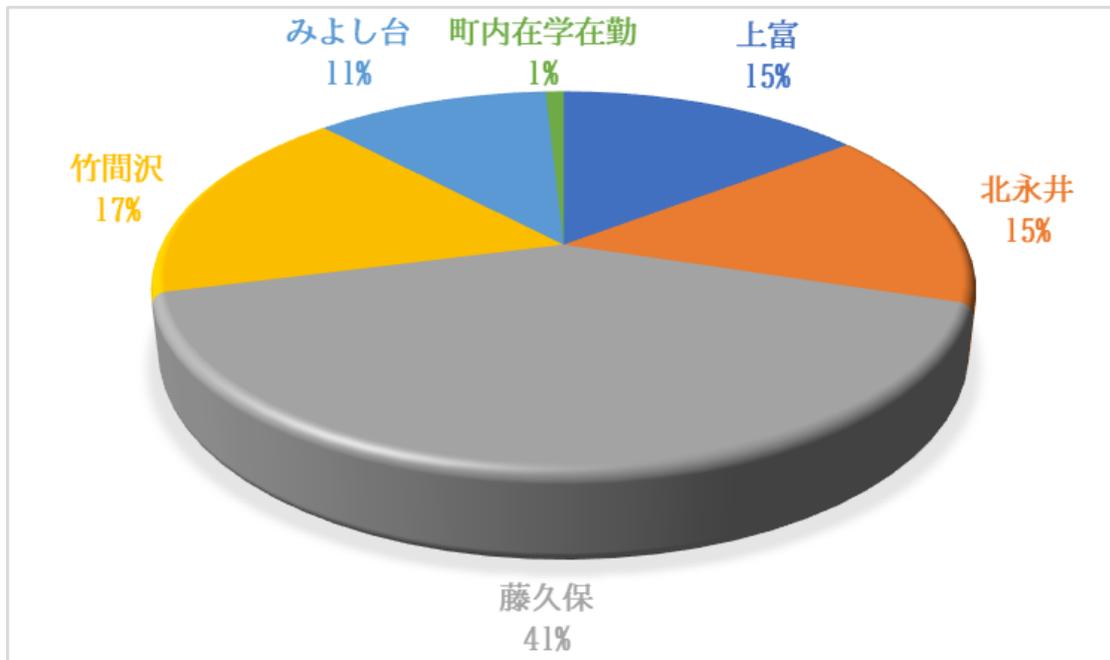
2. まちづくり懇話会 分野別意見割合

分野	割合	意見・提案(抜粋)
道路・交通	27%	カーブミラー設置、歩道整備、道路整備、自転車利用道路、交通安全、スマートIC、ライフバス、雑草
まちづくり全般	30%	住所、人材、藤久保地域拠点、郵政宿舎跡地、共生社会、予算措置、景観、淑徳大学や富士見市・ふじみ野市との共同企画
健康・福祉	3%	行事、ワクチン接種
自治・防犯・防災	16%	自治会加入・運営・活動、災害対策・災害時の対応、防災無線、回覧板、鉄塔、ブロック塀
教育・文化	2%	GIGAスクール構想
自然・公園	10%	公園整備、せせらぎ水辺広場、運動公園整備・利用料金、レクリエーション公園の用具
産業・観光	5%	農業遺産散歩道、ウォーキングコース、こぶしの里の整備
環境	8%	ゴミ、野良猫、苗木配布、街路樹

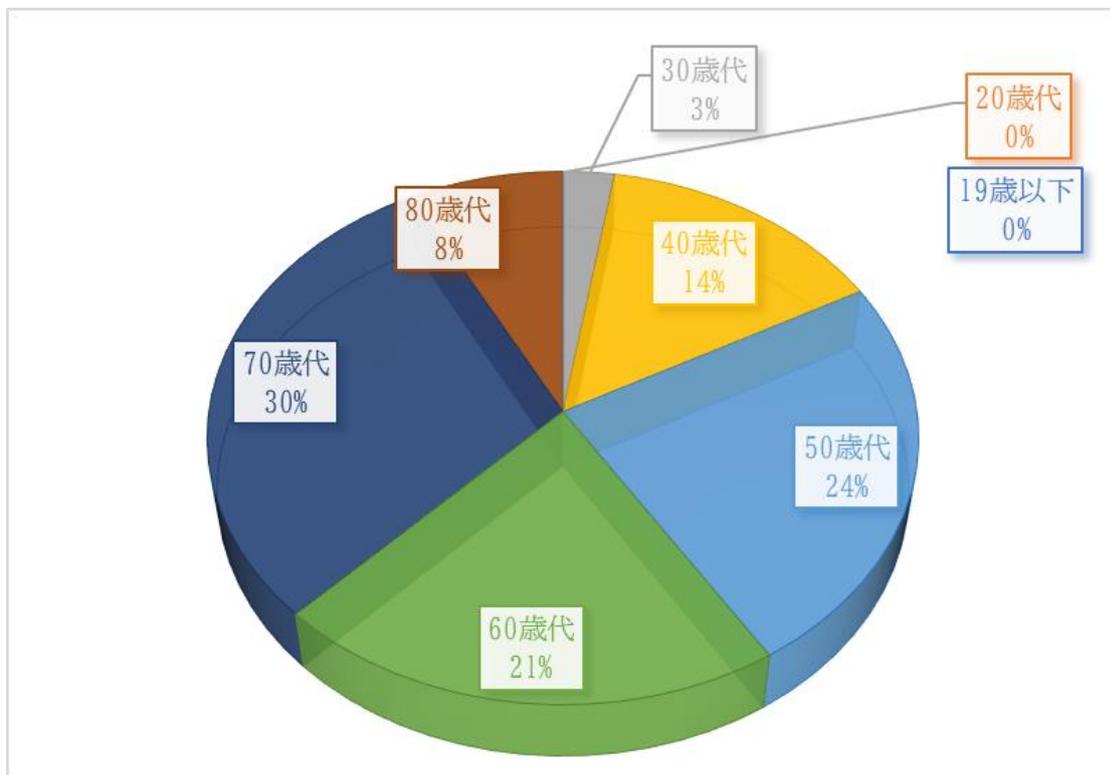


3. 来場者アンケート結果

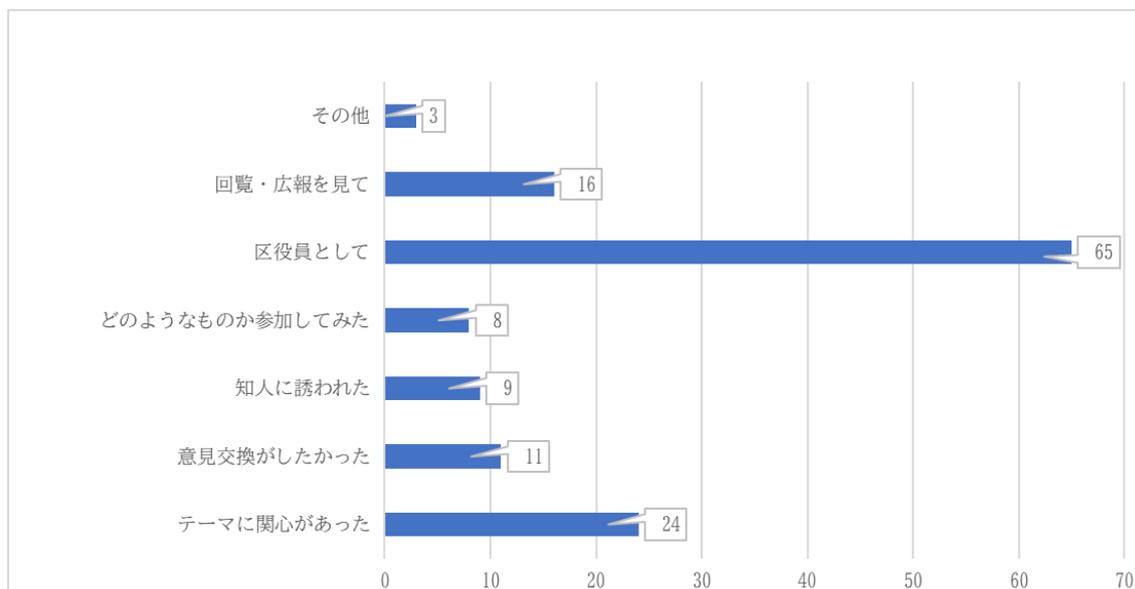
お住まいの地域



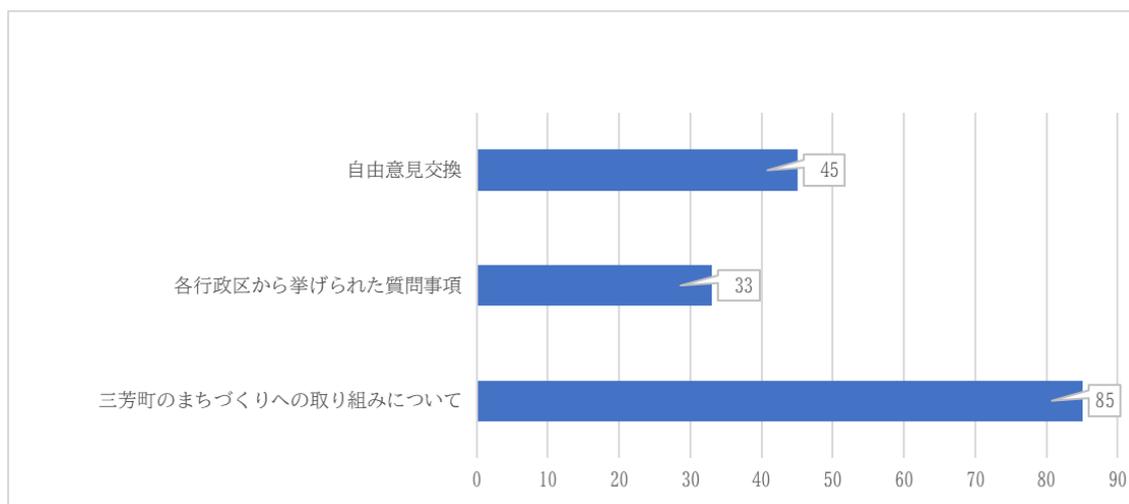
年齢



まちづくり懇話会に参加した動機（複数選択可）



興味をひいた項目（複数選択可）



次回希望テーマ

分野	住まい	年代	次回希望テーマ・質問等
まちづくり 関連	北永井	60歳代	自治会問題
	藤久保	70歳代	自治会問題
	藤久保	70歳代	隣の市とのさかい目に住む人の意見。畑の土が住んでいる家に毎年3月の春風の時期に家の全ての場所入って来る状況です。畑に収穫する野菜とかまいてほしいと同時に、何かこの対策に良い方法を願いたい。いつも隣の町なのでなかなかと言われてそのままになっています。
	藤久保	60歳代	コミュニティ問題
	北永井	50歳代	地域コミュニティ問題
	上富	40歳代	上富地域の世帯数減少への対策
	上富	50歳代	これからも子どものための町づくりを!
	竹間沢	60歳代	少子高齢化対策、第3子以降への給付金など
	竹間沢	50歳代	農業人口減少に伴う畑の活用について
	竹間沢	70歳代	こうありたいと思う未来の三芳町像。みらいくんが描く三芳町の夢!
藤久保	50歳代	空き家問題	
福祉・まち づくり関連	藤久保	60歳代	高齢者、障害者が安心して暮らしていける町について。 住民同市のつながり、コミュニティづくりのヒントを提案してほしい。
道路関係	北永井	80歳以上	スマートICフル化によって、町道各ヶ所の交通事情が大きく変化していることを、どのように考えているか。
	上富	50歳代	交通インフラ、スマートIC付近の安全対策
	上富	40歳代	通学路の安全対策(上富第3区)
ごみ問題	上富	40歳代	ゴミ不法投棄対策
	上富	60歳代	平地林とゴミの不法投棄について
防災	竹間沢	60歳代	町の防災について
	藤久保	50歳代	防災と防災教育
	藤久保	70歳代	防災について、行政として災害後の取り組みは?
公共交通	上富	50歳代	ライフバスの運転のレベルアップについて(研修実施、交差点でのスピード、乗車時の対応など)
	上富	50歳代	高齢者の足回りを増してほしい
藤久保拠点	藤久保	80歳以上	藤久保地域拠点整備事業について
	藤久保	80歳以上	藤久保地域拠点整備事業について
子育て・ 教育	みよし台	70歳代	子どもの貧困について、IT化による子どもの格差問題
	町内在勤者	30歳代	(特に就学前の)子育て支援
その他	竹間沢	50歳代	町長交代

意見・要望等

分野	住まい	年代	意見・要望等
まちづくり 関連	北永井	70歳代	企業誘致をどう計画しているか？高層マンションや企業の計画及び誘致は？
	北永井	70歳代	市制に変更してゆく方向性の基本的考え方を聞きたかった。
	竹間沢	50歳代	畑にもう少し自由に建物を建てられる様にしてもらいたい。農家をやめて畑を持ってあまし、草が多い畑も目立つため。
	藤久保	50歳代	インフラ整備
	藤久保	70歳代	若い人が外から三芳町に移住したくなる様な具体的な施策を考えてほしい。
	藤久保	40歳代	町政の良い点だけでなく、課題点についても話してほしい。
	藤久保	50歳代	行政区の役割と町からの支援
	みよし台	70歳代	委員会・推進会議等、限られた回数の会議では、意見交換ができないため、メール等で意見交換がしたい。
	藤久保	70歳代	若い人達の職場確保について、三芳町に住んでいる人達を優先的に募集する等。
道路	藤久保	60歳代	道路整備、交通網の充実。高齢者も子どもも安心して三芳町内を移動できるようにしてほしい。
	上富	50歳代	スマートIC付近の道路も今後の交通状況にあわせて必要な整備を進めてほしい。
	竹間沢	60歳代	関越自動車道みよしインターチェンジの早期開設。付近の民間建設事業者、三芳ICの進捗率、事業費負担割合 ②用地取得率 ③供用開始年度予定 ⑤県道多福寺交差点より東へ行くと進入路がみえますが、畳一枚分くらいの完成予想図をネクスコ東日本へ設置要望していただきたい。 付近の民間建築の整備が進むのか
	竹間沢	60歳代	竹間沢東の道路の補修
	竹間沢	40歳代	子供たちのための自転車道整備
	藤久保	60歳代	道路整備 20号線
環境	上富		除草作業をお願いします。
	藤久保	30歳代	フォレストシティの前に川越街道・上富等の草刈りをしっかりしてほしい。
公共交通	上富	50歳代	三芳町は駅から遠いので、車があれば(車を運転できれば)不便ではないのですが、学生の通学、サラリーマンの通勤も大変です。ライフパスの本数を増やしたり、運転手のレベルアップをしてほしいです。
藤久保拠点	藤久保	30歳代	藤久保拠点についての説明会他オンラインでも実施してほしい。
	藤久保	70歳代	事業施策方法の説明があったが、現況、BT0、DOB等検討するには利点欠点があると思う。BT0の欠点がわからない。
公共施設	藤久保	80歳代以上	公民館利用者ですが藤久保の視聴覚室現在20名迄ですが50名位入れると良い。調理室も中央公民館くらい広くお部屋が欲しい。学校の廻りの木も森のように伸ばして(フォレストシティ的に)。公民館ホールも2室あったらです。
防災	藤久保	30歳代	防災士の補助金もっとPRしてはどうか(HPでは見えず申請がわかりにくい)。
教育	藤久保	30歳代	校長会に議事録がないのは教育に関する発言や協議の責任の所在が不明。議事録はとるべきでは。
まち懇	藤久保	60歳代	直接、町長、課長の皆さんから話が聞けるのは、重要な事だと思う。本日の意見や質問に対する回答が見られるとうれしいです。
	藤久保	70歳代	町政について住民の声を聞く場を継続し実施しているのは大変ありがたい。今後もつづけてほしいと思います。
	藤久保	70歳代	今回の懇話会のように直接町長と意見交換できる場が有るのは良い事です。また町長の説明も判り易く良かったです。
	北永井	70歳代	議題のパンフレットがあれば、内容がわかりやすい
	みよし台	70歳代	パネル表示がわかりずらかった
	みよし台	70歳代	懇話会のテーマが事前にわからないため、勉強不足ですぐに質問できない。
藤久保	60歳代	(他地区のもでもいいので)前年度の懇話会で出た意見や質問により改善(例)等の発表があれば、懇話会の参加者も増えるのでは。	
町の将来	藤久保	70歳代	言葉には素晴らしい将来を感じるが、具体性に乏しく感じた。
	北永井	80歳代以上	孫の時代が見えない
その他	藤久保	60歳代	大変参考になりました。ありがとうございました。
	みよし台	70歳代	みよし祭り中止は残念だった。
	みよし台	70歳代	くわしく説明があり、ありがとうございます
	藤久保	40歳代	色々大変な時ですががんばっていきましょう。

4. 当日記録

分野	テーマ	質問内容	町の見解
健康・福祉	行事	今年度の町民体育祭が中止に至った経緯を説明してほしい。	町民体育祭は町の事業ではありますが、実行委員会があり、その中で協議をし、結論を出していただいております。そのため、町が中止を決めたのではない点をまずはご理解ください。体育祭が中止になった経緯は、大勢の方が集まり密になる可能性がある点を委員が心配されていたという点があります。
道路・交通	道路整備	みよし台一区集会所前から東中（鎌倉通り）につながる道路で、緩いカーブがある個所（有警城製作所前）があり、カーブミラーを設置してほしい。 また、東中の向かいに「げんき三芳園」があるが、園児が散歩に行く時もこの道路を利用しており、狭くてとても危険。散歩へ行くコースについても園関係者と話し合っ、唐沢小学校駐車場を経由して西中に抜けるコースを選択してもらうなど、より安全なコースを指導することも検討したい。	カーブミラーの設置要望については、各行政区長へ相談いただき地域からの要望として道路交通課へ要望書の提出をお願いいたします。なお、設置要否については担当にて現場確認の上、判断させていただきますのでご了承願います。 園児の散歩など、園外活動時における事故防止等の取組として、危険箇所の事前確認や職員間の情報共有等を行うことにより、安全管理の徹底を行っているところであります。ご意見をいただきました散歩コースについては、園へ情報共有を行うことで認識の共有化を図るとともに、今後の事故防止対策に活用させていただきます。
道路・交通	道路整備	みよし台から、美咲みずほ苑前を経由して針ヶ谷・浦和所沢バイパスに抜ける道路については抜け道化していて交通量も非常に多く、かつ、クランク状に複雑に入り組んでおり、竹間沢小学校の通学路を横断しており、危険である。今後、直線道路として再整備して歩道もつける計画がないか。少なくとも、通学路との交差点については押しボタン式の信号設置とすることが出来ないか。	ご要望の付近について、現時点では新設道路の計画や拡幅、歩道整備に関する計画は無い状態となっております。 通学路の安全対策については歩道整備や道路拡幅のご要望をいただくケースが多々ありますが、早期の道路整備は困難なことが多く、代替えとして現地状況から実施可能な対策を検討しておりますので、具体的な箇所をお伝えいただければと思います。 また、信号機設置については警察の判断となりますが、設置要件を満たし、要望を行った場合でも、なかなか設置に至らない箇所も多く、町内でも設置待ちの箇所が複数ございます。道路交通課職員による現場確認は可能ですので、具体的なご要望箇所がある場合はご連絡をお願いします。 直線道路の計画とのお話ですが、ご指摘の交差点より南西方向に約120mぐらい離れた場所を抜ける幅員16mの都市計画道路の計画はございます。現在の都市計画道路の用地取得につきましては、ベルク交差点より唐沢小学校前の区間につきまして進めさせて頂いております。
道路・交通	歩道整備	みよし台一区、竹間沢地区から町役場に行く際、歩道が整備された道路がほとんどない状況にある。また、自転車で行こうとする場合も道路が狭く危険である。みずほ台西通り線の整備計画の早期推進と併せて、淑徳大学、町役場に至る道路の歩道拡充を早期に推進したい。	幅員に余裕の無い道路において歩道整備を行うには、沿線地権者の同意をいただき町にて用地取得する必要がありますが、多額の費用を要するため早急な整備は難しい状況です。しかしながら、道路利用者の安全対策は可能な範囲で実施してまいりたいと考えており、グリーンベルト設置や車止めポール設置等は可能と思われますので、現地確認の上で検討いたします。 また、みずほ台駅西通り線の用地取得につきましては、令和元年度に一部の取得をおこなわせていただきました。この路線につきましては、市街化の工業地域となっており敷地等も広く1件の用地取得にかかる費用も大きく、他の都市計画道路の用地取得を進めていることもあり、開発の機会を活用した用地取得に取り組んでおります。進捗につきましては、ご希望に沿えないこともあろうかと思いますが着実に一歩ずつ用地の取得を行っていきたいと考えております。
産業・観光	ウォーキングルート	運動公園周辺の遊歩道を設置して頂いていることは良く承知しているが、みよし台一区から町役場迄の歩行ルートについては、危険な道路を利用することになる。東中横の道路から緑の森リクレーション公園に抜けるコースは比較的交通量も少ないので、これを利用することが望ましい。町内でウォーキング出来るルートを町で推奨するのはいかがか？	町では、体育協会が主体となって「ふるさと三芳ウォーキング大会」を毎年実施しています。昨年度より、感染症対策の影響もあって、期間内に指定したルートを歩いてもらう形に変更しました。町内約6kmを歩いて健康増進につなげるとともに、スポーツ全般や体育協会に係るクイズラリーも行い楽しみながらウォーキングできるよう、町のスポーツ推進に取り組んでいます。昨年度は254人に参加いただきました。今年度も引き続き実施します。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
自然・公園	運動公園整備	総合運動公園グラウンドの排水状況が極めて悪い。前日少し強い雨が降ると、翌日晴れていてもかなり水はけが悪いために水たまりがたまった状態で午前中のグラウンドコンディションが悪い。特にグラウンド周囲の側溝が土で詰まってしまい、排水の機能が果たせない状況にある。定期的に流入する土を取り除いて、排水機能を維持できるよう管理を徹底して頂きたい。	運動公園グラウンドの排水状況についてご迷惑をおかけしていますこと、深くお詫び申し上げます。状況を確認の上、グラウンドを管理している指定管理者と連携して側溝に溜まった土砂を除去するなど、住民の皆様が利用しやすい施設を維持できるよう努めます。
自然・公園	運動公園	総合運動公園グラウンドの使用料が他の自治体と比較して高い。他の自治体並みの使用料としてもそれほど町の財政負担にはならないと思うので、スポーツ振興の上からも、もっと利用しやすくすべき。特に平日や夜間の利用率を高めるべき。 富士見市半日1,200円、一日2,500円1時間300円 三芳町2時間半面2,610円、2時間全面5,230円	運動公園グラウンドの利用料金については、平成21年に施行された三芳町体育施設条例で定めて以来、2回の消費増税に伴い増税分の値上げはありましたが、当初の設定のまま運用しております。ご指摘のとおり、他自治体の利用料と比較すると当町の利用料金は高めであることは事実ですので、他自治体の状況を注視しつつ、利用料金の適正な設定について今後研究してまいります。
自然・公園	こぶしの里	こぶしの里は、公園としての整備が不十分で、蜘蛛の巣が張っていたり、時には蜂の巣があって危険な時もあった。富士見市の公園と比較しても花や道の整備、植栽の整備は不十分で暗くうっそうとした感じである。これでは住民が憩いの場として利用できる状況になく、中途半端な公園と言わざるを得ない。三芳町の観光スポットにもなっているのなら、もっとしっかり点検整備すべきである。	こぶしの里の維持管理につきましては、樹木の管理や緑道の管理また、子どもの川浚渫等が挙げられます。予算の配分を検討しながら適宜対応してまいります。
自然・公園	公園整備	緑の森リフレッシュ公園のグラウンド（旧飯田グラウンド）は土日は少年野球優先で利用することになっていると承知しているが、平日は一般も利用可能である。その際、グラウンドを整備するときのブラシやトンボが壊れたままになっていたり、本数が少ない。定期的に見回って、グラウンドブラシは壊れていたら修理、補充してもらいたい。	グラウンドの芝や樹木の管理は都市計画課で行い、ブラシ等によるグラウンドの整備は、登録団体が行っています。公園担当でバトロールをした際に、適宜、修繕等行いますが、登録団体にも備品の管理を徹底してもらえよう働きかけてまいります。
まちづくり全般	大学との連携	二方町には淑徳大学といふ学園都市としても機能を持つ大学がバリエーションがある。みずほ駅から淑徳大学に通う学生をうまく取り込み、文化、スポーツ面でコラボすれば町の活性化につなげることが出来る。具体的にどうするかは分からないが、淑徳大学の要望を受け入れながら、学生の文化活動の支援、スポーツ施設の共有、グラウンドの誘致、さらには農業体験など、学生との交流の場を作ることが出来るか。	淑徳大学とは、包括協定を締結しており、様々な場面で協働させていただいております。例えば、イベント時のボランティア活動や淑徳祭へのボランティア協力等です。しかし、最近ではコロナ禍のため、学校の事業がリモート化した影響により、カリキュラムがタイトになり難しいことが多くなってしまいました。今後は庁内関係部署との連携を再開できるよう努めていきます。
まちづくり全般	近隣市との協力体制	二市との合併は見送られたものの、より積極的に様々な分野での共同活動が進められないか。町民にはあまりその計画が伝わってこない。例えば東武鉄道に対し、みずほ駅駅の急行停車本数の拡大、ダイヤの見直し要望。ライフバスの共同運行など。	生活圏をほぼ同一としている富士見・ふじみ野両市とは、様々かつ細やかな事業で協力体制にあるところです。ご質問にあるような東武鉄道に関するお話は、川越市や県南四市とともに東武東上線改善対策協議会に加入し、要望等をお伝えしております。また、ライフバスについては株式会社でありますので、町と協定を結びながら、協議によって2路線を運行していただいているところです。つながりの深い自治体でありますので、様々な形で協力していきたいと考えております。
道路・交通	スマートIC	スマートICフル化について、 ①総事業予算のうち現在その何%が執行されてるのか ②供用開始時期 ③完成予想図のようなものを畳1枚ぐらいの大きさにIC近くに設置してほしい	①事業費ベースの進捗率として、令和4年3月時点で約75%となります。 ②現在、共同事業者であるネクスコと鋭意工事を進めております。7月1日より町道の付替を行い、下り線側のスマートIC本体工事に着手したところです。供用時期につきましては工事の見通しが立った時点で改めて公表させていただきます。 ③利用者に分かりやすく周知できるよう設置に向けて検討を進めさせていただきます。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
まちづくり全般	将来に向けた構想	50年程先の三芳町の夢や将来像について、例えば開発型であれば、放射線状の交通軸が欲しい（大江戸線開通）などの構想があってもいいのではないかと。 また町をゴミゴミさせないという観点から、例えば建売住宅地をつくる際、通常であれば1件100平米程の広さのところを、三芳町は1件150平米でないとならないような施策や、1軒について3本の植樹を求めると、ゆったりと緑の中で住むことのできる環境づくりを条例化して町をレベルアップしていくことも良いのではないかと。「子どもたちや孫たちには、こういう生活をさせてあげたい、50年後はこうなりたい。」といった大きな夢を掲げていいのではないかと。	ご指摘の視点については、第6次総合計画を策定する際に、8年間の計画ではなく、その先を見据えて考える必要があり、プラネタリーバウンダリーの観点や、バックキャストの手法を踏まえて考えていきたいと考えております。 また、農と自然と快適な環境の中で住めるまちというのは、三芳町だからこそできるのではないかと考えております。このような考えを（仮称）フォレストシティ構想の中にも取り入れていきたいと考えておりますし、ご意見を参考にさせていただきたいと思っております。
まちづくり全般	住居表示	大字や小字の表記を外すことはできるのか。議会で決議すれば外せるという話を聞いたことがある。	「大字」表記を廃止するには、地方自治法第260条により、『市町村の区域内の町若しくは字の区域を新たに画し若しくはこれを廃止し、又は町若しくは字の区域若しくはその名称を変更しようとするときは、当該市町村の議会の議決を経て定めなければならない。』となっております。つまり、区画整理や住居表示等の事業を行い、議決を経て町村長が告示し効力が生じます。例えば住居表示の場合だと、基礎調査（住民基本台帳や土地台帳等）、例規の整備、域案、新町名割案、地元の説明会等が必要で、戸内システムの改修も必要になります。費用面については、どのくらいのエリアを対象とするかによって変わってきますが、数千万円規模の費用がかかるものと考えております。
まちづくり全般	藤久保地域拠点施設	藤久保地域1ヶ所だけに、20年間で100億円近い金額をかけるのはどうなのか。（他の地域も整備して欲しい）	町内全体を見て、公平に必要な所からしっかりと整備をしていこうと考えております。また、まちづくりの構想基本は拠点を大事にすることであって、それぞれの地域によって拠点を整備していこうという考えがあります。上富地域については、世界農業遺産の拠点になる地域なので、農業センターも含め今後色々な形で整備していかなければと考えています。 藤久保地域拠点施設については、今回97億円という大きな額に見えますが、図書館や様々な施設があり、町民の皆さんが使える施設です。道路整備や公共交通を整備しながら利便性を良くし、藤久保地域の方に関わらず、町民の皆さんに利用いただける施設にしたいと考えています。
環境	ゴミ	多福寺交差点角に地区のゴミ捨て場があるが、道にゴミを置くわけにもいかず、ネットを設置する形での置き場になってる。町としてあの場所に何か置く許可をいただけませんか。車で来た一般の人、さっとゴミだけ置いてしまったり、カラス等の被害が多いので、ネットだけでは対処しきれない。最低限、ゴミを出す枠があれば設置してほしい。	ご意見をいただきました当該集積所の管理について、町でも分別間違いや不法投棄により散乱した廃棄物の撤去をしており、認識はしています。当該集積所の管理に支障があるようでしたら、ご利用されている方たちで新たな場所への移設を考えていただきたいと思いますので、町にご相談いただければと思います。
自然・公園	景観	県道56号線の景観地について、5年に1回程伐採してるが、費用がかかるため、3年に1回程度、町の方で綺麗にしてもらいたい。	県の補助金や町の基金を活用して、整備を行っておりますので、申請していただければと思います。ご指摘の場所は、町にとって美しい景観がある所ですので、守っていきたくて考えております。
産業・観光	散歩道	最近町の方で設定した緑の中を散歩するコースについて、あれは町道になるのか。	農業遺産を巡る散歩道の3コースは基本的には町道を通っています。一部平地林の中を通る部分のみ地権者の方からお借りして、賃貸借契約を結んでおります。
道路・交通	雑草	最近町の方で設定した緑の中を散歩するコースについて（農業遺産を巡る3つの散歩道）、エイチイム倉庫（永久保通り）の横の道路、雑草が茂っている。個人でも除草作業はしているが、全然追いつかない状況。土日になると、散歩で歩く方が見られるため、綺麗にしてほしい。もし町の方で管理していただけるのであれば除草等の対策をお願いしたい。	定期的に雑草状況を確認し、道路管理者として対応していきます。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
道路・交通	道路整備	多聞院から細く上富幼稚園の方に抜けてくる町道1号線がかなり狭い。スマートICフル化に伴い、交通量も相当増えてくるため、その道を抜けてくる車はかなり増えるのではないかと。現在でも若干交通量が多く、かなり狭いので、用地取得等の準備ができないかと。	スマートICのフル化整備へ向けては事前にアクセス道路を定め、必要な箇所については交差点拡幅、歩車道整備等を実施してまいりました。ご心配いただいているスマートICフル化後の交通状況については、アクセス道路以外への交通負荷が極力かからないよう誘導看板の設置を予定しており、今年度より順次整備してまいります。また、ご指摘の区間につきましては現状で建設資材、廃材を運搬する大型トラック等の通行が多いように見受けられます。道路が狭いことによるご心配も理解いたしますが、道路拡幅により通行が容易になると更なる大型車交通量増加の恐れも考えられるため、道路拡幅については費用対効果も含め今後も慎重に検討したいと思っております。
道路・交通	道路整備	県道56号線と地藏通りが交わる交差点、床屋さん側の角に歩行者を守るためのポールが建っている。そのため県道56号線を川越方面に進む場合、右折待機車がいると直進車が通れず、朝・夕方の交通量が多い時間帯は大渋滞が起きている。朝・夕方は子どもたちの通学帰宅時間でもあるため、心配である。現状を確認いただきたい。	ご指摘の箇所は、これまで川越方面へ直進する車両が右折待機車の横を歩道側へ膨らみながら避けて通行していた現状が危険であり、現地在通学路でもあることから、令和3年度に安全対策として交差点隅切り部の拡幅及び鋼製ポールを設置を実施しました。渋滞解消については右折帯の整備が必要と考えておりますが、そのためには道路拡幅が必要であり沿線地権者の同意が必要となります。県道の道路管理者である川越県土整備事務所とも意見交換しながら、更なる安全対策を検討してまいりたいと思っております。
道路・交通	道路整備	スマートIC北側の側道、砂川堀より先の道（砂利道）について、大型車両が通行できない旨の看板はあるにもかかわらず、大型トラックが入ってきて、身動きが取れなくなっている状況を1年で2回ほど見る。本来は通ることができることが望ましいが、今後交通量が増える可能性もあるため、道路改良等の検討をしてほしい。また、砂川堀手前の高速道路をくぐるトンネル（ICの方から来ると手前側）のカーブ付近に空き地の土地があるが、草が茂っていて側道が狭くなってきているため、町の方でも面倒見ていただければと思う。	ご指摘の区間については現在の交通量及び周辺状況を考慮すると拡幅は難しいと考えておりますが、既に設置済みの注意喚起看板だけでなく、誤進入を防ぐ更なる対策は今後検討してまいりたいと思っております。また、道路上を含む町有地に繁茂している雑草については早急に除草作業を実施いたします。
環境	野良猫	野良猫が自然と増えている状況のため避妊・去勢等への補助があるか。	飼主がいない猫に餌やりなどしている方がいれば、その方に対して、直接の指導を行っております。また、その近隣のお宅に対しまして、埼玉県のリフレットをお配りして、飼主のいない猫を増やさないよう啓発を行っております。いわゆる地域猫の問題は別としまして、現に適正に飼育されている中で、個別に助成等を行っている例は、犬・猫いずれにも見当たりません。「繁殖に関する適切な措置」ということも、法の上では「飼い主の責務」とされており、みなさんご理解の上で愛護されているのだと思っております。現時点では町として補助の予定はございませんが、動向を見守り、検討していきたいと思っております。
道路・交通	道路整備	下組交差点以南の道路（町道2号線）について歩道がまだまだ狭い状態であり、子どもが通る歩道として整備されていない状況なので、整備をしていただきたい。	町道幹線2号線の歩道については、下組交差点より北側の県道区間と比較し著しく狭い現状は把握しております。歩道の拡幅には沿線地権者の同意をいただき町にて用地取得する必要がございますが、多額の費用を要するため早急な整備は難しい状況です。現状の幅員の中で可能な安全対策を検討するとともに、適切な歩道通行空間の維持管理に努めてまいりたいと思っております。
環境	ゴミ	町道20号線の（家庭ゴミをトラックから捨ててたのではないかとと思われる）ゴミの不法投棄について、ゴミ拾いをした際に、ゴミ袋4袋程集まった。不法投棄対策等もされていると思うが、今後スマートICフル化によりトラック等の交通量も増えると思われる。より良いまちづくりのために対策をお願いしたい。	通報やパトロールで確認された不法投棄物は、職員や町の委託業者で遅滞なく撤去することに努めております。また、ポイ捨てされやすい場所に看板を設置するなどして不法投棄防止にも努めてはおりますが、残念ながら後を絶たないのが実状です。町条例が目指す安全快適できれいなまちをつくるため、今後はパトロールの強化など防止・啓発に向けた取組を強化してまいりたいと考えております。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
道路・交通	道路整備	浄水場がある丁字路の交差点は交通量が多く、特に朝夕、通勤時の車と自転車や歩行者が多く、特に横断しようとする自転車と歩行者は足止めを余儀なくされている。横断歩道がないため、車も停まろうとしない。交通安全の観点から何らかの計画の中に含んでいるかもしれないが、対策を伺いたい。また、町で把握している町内各地の交通に関する危険ポイントなどの情報があつたら教えてほしい。	町では、「三芳町安全安心マップ」というものを、学校とボランティアが実際に歩き、小学校区毎に地図を作成し、学校毎の新入生説明会にて配布しております。町のHPに掲載し、皆さんが確認できるように関係各位と調整いたします。また、町のHP（ホーム>防災・防犯・消防>交通安全>安全安心マップ）に掲載されておりますので、是非ご参考いただきますようお願いいたします。 ご指摘の丁字路について、朝夕の通行状況については概ね把握しており、役場前の通り（幹線5号線）を横断しようとする方が多いことも確認しております。また、浄水場南側の道路（幹線20号線）については、大型車通行規制がかかっているほど幅員が狭いにも関わらず、県道三芳富士見線の渋滞を避けるために朝夕は抜け道として使う乗用車が多いのだと推測されます。交差点全体としては現時点で安全対策の計画を立てているわけではございませんが、幹線20号線については、今後拡幅へ向けて用地取得を進めてまいります。また、幹線5号線については交差点付近の更なる安全対策や注意喚起ができないか検討いたします。なお、横断歩道の設置検討については歩行者交通量が重要となります。幹線5号線を横断する歩行者はごく僅かであり、自転車が圧倒的に多いことから現状では設置困難との判断になります。自転車は軽車両に分類され、本来は横断歩道の通行対象外となりますのでご理解いただくようお願いいたします。
自治・防犯・防災	自治会活動	北永井2区は自治会の退会者が非常に多く、退会理由は、高齢の方だと役員をやるほどの体力がない、迷惑をかけたくないという内容で、若年層だと加入するメリットがない、自治会活動でわざわざ出歩きたくないといった内容が大半。北永井2区は総世帯が1300世帯以上のうち、加入世帯は440世帯しかない。区の下には組があるが、3つの組が組全体で退会したいと言っている。大きい住宅街では元々3つの組があったが退会される方が大変多く、一つに統合して運営している状況。自治安心課の職員と相談し、今後の対策を検討しているが、例えば募金活動を区に依頼されたら、区に所属している方にしか回らないため、半分以上は募金活動をスルーしてしまう状況になっている。町から様々な役割の依頼が区にもらうが、人選が非常に大変な状況。コロナ禍で夏祭りをはじめ様々なイベントが中止になっているが、今後活動が活発になってきたときに、いかに運営していくかが本当に悩ましい。町として、特に北永井2区だけではないと思うが、自治会関係で新たな対策をお願いできればと考えている。	行政区を維持していくためには、地域コミュニティが重要と考えています。まずは、行政連絡区に加入するメリットを創出する施策として、町内事業者と協賛いただき、行政連絡区加入世帯が、独自のサービスを受けられる「みよしなカード」の制度を開始したいと考えております。また、昨年度行政連絡区主催によるラジオ体操を進展させ、本年度はNHKの夏季巡回ラジオ体操の誘致することが出来ましたので、多くの加入世帯に参加いただき、地域コミュニティの発展の一助になればと考えております。 行政連絡区を退会される方の事情は様々な理由があると思いますが、地域によって独自の状況があり、効果的な抑制方法はそれぞれ違って来るものと考えます。毎月の区長会の中で、各区の状況に応じた課題を洗い出しながら、効果的な方法を模索していきたいと考えます。
自治・防犯・防災	回覧板	回覧板の内容の見直し（学校のお便りなど、皆さん見ているのか疑問です。子どもがいる家庭は学校からもらうし、子どもがいない家庭にとっては不要では？）	回覧板につきましては、電子化の提案も視野に入れて検討を進めています。しかしながら、電子化に対応できない世帯も存在すると思いますので、回覧板についての負担軽減を図りながら、地域毎に最良の方法を模索していきたいと考えています。また、回覧板を回すことによって、地域のコミュニティが図られるというメリットもありますので、それに代わる場の創出も同時に検討していきたいと思っています。
自然・公園	公園整備	せせらぎ水辺広場に日陰がもっとほしい。子どもが着替えるのに便利なスペースが欲しい。（足が汚れにくく、荷物をおける場所など）	せせらぎ水辺広場には、令和3年度にパーゴラを設置し利用して頂いています。今後の利用状況を見ながら検討します。なお、HPや広報にも掲載しましたが、簡易テントの設置は適宜利用可能としております。また、令和4年度当初に、数本の木を移植しましたので木陰づくりも適宜進めております。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
道路・交通	ライフバス	ライフバスでPASMO、Suica（電子マネー）が使えるようにならないか。	ライフバスとの協議の中で、PASMO・Suicaの導入には億単位の費用が掛かるため、他の手法で検討・準備していると伺っています。要望の多い案件ですので、町としても協議の中で重ねてお伝えします。
まちづくり全般	テニスコート 藤久保地域拠点施設	テニスコートの人工芝化が議会で承認されたと思うが、人工芝に使用されているマイクロプラスチックが自然環境に及ぼす悪影響の大きな原因になっているため、マイナス要因が大きいと思う。そういった施設に多くのお金がかかることも問題。 また、施設マネジメント計画の中で、公共施設の老朽化に伴う一斉更新を考えるとのことだが、計画としては建て替えが基本になっていて、既存の施設を活用したリニューアルという発想が抜けていると思う。建物を建ててから30～40年で建て替えるといった発想ではなくて、建物を維持補修しながら、内装をリニューアルして使い続けていくという発想で計画を立てると費用面でも節約できると思う。第6次総合計画にはそういった観点も含めてほしい。	既存のクレーコートは水はげが悪く、雨が降ってから利用できるまでに数日を要している場合があります。それに比べて砂入り人工芝コートは水はげが良いので、利用者の利便性向上のために改修を計画しました。また、雨水については敷地内での浸透処理としていますので、雨水管等を通してマイクロプラスチックが流出することはありません。摩耗によって発生したマイクロプラスチックの飛散により敷地外へ流出する可能性がある場合には、飛散を防止する対策を検討します。
まちづくり全般	景観	役場の高層階から役場の駐車場側を見ると、鉄の廃材を扱っている事業所が見える。窓を開けるとすごい音がする上、景観が住民として非常に違和感があり許せない。 さらに鉄材の搬出入に伴う大きな車が、事業所前の道路上に縦列で2～3台も止まって順番を待っているため、役場への往来で非常に危険を伴う。町にお願いしてどうにかできるものではないと思うが、素敵な景観の三芳町が見られるように変えられないかと願っている。 それから、公共施設である浄水場の隣にラブホテルがある。これも何とか改善することはできないか。	ご指摘の事案では、取扱品が廃棄物でなく有価物であるため直接規制する法令がないことのほか、「資源の有効利用及びリサイクルの促進」という観点で言えば、条例によってこれを停滞、後退させてしまうことも懸念されます。また、憲法や法令に抵触することのないよう、財産権と公共福祉との均衡について高度に調整を図らなければなりませんので、環境課としては条例の制定については十分慎重に検討してきたところでございます。 しかしながら、千葉市の例を見れば、この点について十分なプロセスを経たうえで『公共の福祉の観点から憲法違反には当たらない』とする市長判断、市長コメントに至ったのだらうと思っております。高度な知見を集め、十分な時間をかけ、慎重に審理する必要はございますが、鋭意検討を進めてまいります。 浄水場に近接する二棟のホテルですが、昭和60年に既存宅地確認、昭和60年及び昭和62年に建築確認を取得し建築されました。 既存宅地確認制度は、市街化調整区域内の土地に対する制限を緩和し、その土地が「市街化調整区域とされた線引き時点で既に宅地となっていた」などの条件を満たした場合に建築行為許可を免除する制度です。平成13年5月18日をもって廃止されています。よって現時点での違法性は認められないため、除却等の指導は難しいところでです。
道路・交通	道路整備	北永井2区集会所の前を通っているローソンに行くまでの道が狭い。あと3～4軒が下がれば広がる。小学生が下校する際、学校では右側通行と言われているが、その道だけ左側通行をしている。スクールワーカーで現地に行くこともあるが、非常に危ない。 警察や県が絡むのか分かりませんが、何年も変わっていないので対応をお願いしたい。	道路拡幅については沿線地権者の同意が無いと事業を進めることができません。そのため、拡幅の必要性は把握しているものの用地取得、整備が実現していない現状がございます。現地は限られた道路幅員の中で歩行者通行空間を確保すべく、路線西側のみグリーンベルトを設置しております。進行方向によっては左側通行となってしまいますが、この区間においては引き続きグリーンベルト側を通行いただければと思います。 今後も必要に応じて立看板による注意喚起や区画線摩耗に対する修繕は適宜検討してまいりたいと思います。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
道路・交通	ライフバス	7番線が休止になったが、8番線の需要はどれだけあるのか。8番線が北永井方面を通過していけば、本数は少ないにせよ北永井の住民も利用できると思う。 また、昨年11月に7番線が休止されてから6ヶ月以上経過した。ライフバスと協議はしていると思うが、一向に方向性が見えてこない。さらには北永井3区からふじみ野方面に向かうバス路線もない。いろいろと検討していることはあると思うので、検討状況を積極的に住民に周知する必要があると思う。	8番線が運行を開始してからこれまでに間については乗客数が徐々に増加している状況となっております。今後も継続して利用状況を把握してまいります。 また、6番線の再編に関しましても定期的にライフバスと協議を重ねておりますので、引き続きライフバスと協議のうえ研究・検討をしてまいりたいと考えております。
道路・交通	ライフバス	以前、ライフバスで町内を往来するために乗り継ぎができる場所がほしいと伝えた。そうすれば、今の路線でも、例えば1番線と上富方面に行くバスが乗り継ぎできれば、役場にも行きやすくなる。現状は乗り継ぎのための料金体系になっていないうえ、時間的に乗り継ぎしやすいような調整はされていないため、ライフバスが町内全体を走っているにもかかわらず不便な状態のままになってしまう。路線の増減やルート変更だけでなく、町内全体を自由に走行するような検討がされているのか知りたい。	ライフバスの乗り継ぎに関しましては、以前ライフバスと協議した経緯はございますが、乗り継ぎを前提とした路線再編や時間変更は非常に難しいところです。現在は定期券の電子化等のご意見と合わせて、乗継利便性向上についてもご意見をお伝えしております。町としても公共交通の在り方を含め検討したいと思っております。
教育・文化	GIGAスクール構想	コロナの影響でオンライン授業等が増えている。各児童に1台のタブレット配布は家庭としては非常に助かっているが、通信速度に関して、学校と各家庭での通信速度差の影響からか、授業のスムーズな進行ができていないような印象がある。町の教育として考えを伺いたい。	オンライン授業につきましては、現在、学級閉鎖時や感染不安のある児童生徒等へ向けて実施しているところです。今のところ、家庭と学校における通信速度に関して円滑に実施できているとの認識ではありますが、関係課と連携し、実態把握や課題解決に向けた対応を検討してまいります。
道路・交通	歩道整備	町道幹線7号線の坂下から唐沢小学校方面へ坂を上る際、樹木が多い茂っており、見通しが悪く大変危険である。樹木の繁茂に加え、坂道であるため車と歩行者との距離感が掴み辛く、危険な場面を何度か目撃している。	街路樹については定期的な枝剪定により維持管理しておりますが、現状を確認の上で早急な枝剪定等も検討いたします。また、現地は地形的な要因も重なり見通しが悪いとのことですので、現状で対応可能な改善方法が無いか検討いたします。 なお、ご指摘の区間については都市計画道路として今後道路の再整備を予定しており、その際には街路樹の植替えも予定しておりますので、道路利用の支障とならないよう植樹間隔にも配慮して整備いたします。
自治・防犯・防災	防災無線	防災無線について。毎度毎度同じようなことを伝えるのではなく、工夫して有意義な放送にしてほしい。また、迷い人の放送については、その人が見つかったかどうかの放送がないので、まだ探す必要があるのかももう見つかったのかわからない。	無線放送については、自治体によっては独自の発信をしているというケースもありますので、今後検討していきたいと思っております。 また迷い人の放送については、住んでいる場所によって防災無線がうるさいというご意見もあり、頻繁に放送できないという側面もありますことをご理解いただけますと幸いです。
まちづくり全般	藤久保地域拠点施設	今、藤久保公民館で歌声というサークル活動をしている。視聴覚室のピアノを使って童謡を歌ったりするサークルで、人数がどんどん増えているので、藤久保地域拠点では50人程度が入れるピアノ付きの視聴覚室にしてほしい。加えて、藤久保公民館のホールは予約で争奪戦になるときもあるので、2つぐらいホールが配備されたら嬉しい。 他にも、藤久保公民館には大きな木があるので、藤久保地域拠点にも大きな木を植えてほしい。あと、中央公民館に綺麗で大きな調理室があるが、藤久保地域拠点にも設置してもらえたらありがたい。	新しい施設に関しましては、今と同等規模の部屋にピアノを置いて、新しい施設ではスタジオという形で整備していく予定です。今の視聴覚室では狭いというお話ですが、多目的ホールという大きなホールの中にピアノがございまして、そこでやっただけの方法と、学校開放も進めていく予定で、校舎の音楽室を放課後に一般開放する仕組みを考えていますので、今ご要望いただいたことに対応できるような施設になるのではと考えています。調理室に関しましても、今の公民館と同様のものを整備します。こちらも学校の家庭科室を一般開放する予定にしておりますので、既存の調理室で狭い場合は、学校の家庭科室を活用していただければと考えています。放課後や土日になるとは思います、上手に活用していただければと考えています。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
環境	道路整備	街路樹の葉を全て切る理由は何かあるのか。もう少し葉が多くがあれば、空気がもっと良くなると思う。	街路樹は通行者の支障とならないよう適切に管理しなければなりません。定期的な剪定作業を実施しておりますが、樹木によっては枝葉の成長スピードが早く、短い周期で対応しなければならない箇所もございます。そのため、道路交通上で支障となる路線については強剪定を実施することもございます。また、春から秋にかけては街路樹に病害虫が発生することもあり、樹木全体が枯れてしまう前に枝葉を切り落として対応するケースもございます。景観に配慮しつつ、今後も適切な維持管理に努めてまいりますのでご理解をお願いいたします。
まちづくり全般	藤久保地域拠点施設 公園整備 ライフバス	藤久保地域拠点は国からの補助金をもらって整備していくとのこと、三芳町の負担を軽減できるとのことだが、利用者は町民であり県民であり国民でもあるため、20億円を国が負担してくれるから70億円で建てられるわけではないと思う。新しい施設ができれば、素晴らしい環境の中でサークル活動や教育に活かされると思うが、限られた予算を十分精査して本当に素晴らしい良い施設を建てていただいたうえでソフト面として教育内容も具体的に検討しているのかを伺いたい。 三芳町の公園には遊具がなにもないから他自治体の公園に遊びに行くという話を近所の方から聞いた。財政的な事情もあると思うが公園整備についても検討してほしい。 ライフバスについて、回送の状態になるとアクセルをふかして煽り立てることが散見される。大きな事故につながると非常に危険であるため、伝えておく。	多くの住民の皆さんが期待していますので、皆さんにご納得いただけるような施設にしたいと考えています。国の補助金も活用しながら良い施設を造っていきたく考えています。最終的には子どもたちがいきいきと幸せに生きられる人間育成が最も重要だと考えていますので、そういった観点でハード面だけでなく、ソフト面でも日本だけではなく世界からもモデルにもらえるような学校にしていきたいと思っています。教育長をはじめ、教育委員会もしっかりと話をしていきたいと思っています。 公園に関しては、令和の森公園に6つの遊具を備えたアスレチックを作る予定にしています。近くに築山も設ける予定であり、子どもが遊べるような環境を作っていきたいと思っています。三芳町でも遊ぶところがあるという部分は今後しっかりと発信をしていきたいと思っています。 また、ライフバスに関しましては定期的に協議する場を設けてますので、そこでしっかりとお伝えさせていただきます。
健康・福祉	ワクチン接種	4回目のワクチン接種は、2市1町どこの病院でも接種可能か。（富士見市でも可能か）	可能です。 ただ、新型コロナワクチン接種については、4回目接種に限らず手続きが必要になる場合があります。町外医療機関で接種を希望される場合は、事前に医療機関が所在する自治体へ住所地外接種届の申請手続きが必要となります。なお入院や施設に入所されている方、基礎疾患があり主治医のもとで接種をする必要がある方等は、手続きを省略できます。 町外医療機関で接種を希望される場合、まずは希望される医療機関へご相談ください。 （三芳町のコールセンターでは、町外医療機関の予約をとることはできません） 4回目接種については、3回目を町内の接種医療機関で接種された方へ、事前に予約確定券を郵送します。その予約確定券に記載されている日時の都合が悪い場合は、コールセンターへ電話やメールで変更していただくことになっております。なお3回目接種を町外医療機関で受けた人で、4回目を町内医療機関で接種を希望される場合は、三芳町のコールセンターで予約が必要となります。3回目と同様に町外医療機関で接種を希望される場合は、3回目接種の医療機関へお問い合わせください。
まちづくり全般	藤久保地域拠点施設	藤久保地域拠点施設について、公民館・図書館、教育施設については直営にて運営していくということで、住民の声を反映いただきましたが、その施設内の設備や備品に対する住民の意見を聞く機会もまた設けてもらえるのか。	今後施設の整備を進めていく中で、そういった機会を設けていきたいと思っております。
まちづくり全般	職員	高齢化社会が進む中、三芳町においても定年退職者の採用などによる働き口を提供してほしい。	町にとっても、高齢者の働き手というのは大きな力になると思いますので、しっかりと推進したいと考えています。担当課では、アクティブシニアの方が働きやすい環境をつくっていこうと、皆さんの意見を取り入れつつ検討しているところです。 また、第6次総合計画においても非常に重要なポイントになりますので、具体的な施策を考えていきたいと思っています。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
まちづくり全般	郵政宿舎跡地	藤久保小学校裏にある、郵政宿舎の跡地のことで伺いたい。郵政宿舎が空家状態となって、今年の2月頃売りに出すと伺った。どこに売られたか確認したい。この地域は25m以内（8階建程度）の建物であれば建設可能と聞いているが、郵政宿舎の北側と東側の方にすでに住宅が建設されている。さらに高い建物を建設することは、近隣の方の生活環境を変えるため、できれば高い建物の建設を避けてほしいという思いがある。現在、町は郵政宿舎跡地をどこが買ったのか、またどのような目的で利用しようとしているのか、もし把握していれば教えてほしい。	現在は業者による解体工事中となっておりますので、引き続き動向を注視してまいります。なお、現時点では申請行為等は行われておりません。
まちづくり全般	予算	藤久保地域拠点計画、当初は60億円程度だったと思うが、今回補正予算で100億円近い費用となり、大変驚いている。三芳町は高齢化もかなり進んできており、これからもっと加速していくと思うが、その大きな事業を支えるには、子育て世帯に選ばれるまちづくりが非常に重要になる。藤久保拠点はすごくいい施設ができるだろうと期待しているが、子育て世帯に選ばれるには、18歳までの医療費無償化や、普段の生活を支える政策が非常に大事になってくると思う。子育て世帯に向けた予算や、高齢化に伴う福祉に関する予算、それぞれ確保できるのか不安感があるので、説明をお願いしたい。	町の今後の財政運営に関しては、子育て支援策、高齢者の福祉政策、道路整備など全体を見ながらバランスよくまちづくりを進めていくことが非常に大事だと考えています。子どもの医療費無償化などを進めている自治体があることは承知していますが、子どもたちが将来幸せに生きられるまちをつくるためにも、持続可能な財政運営を行っていく必要があります。一方では、財政調整基金を取り崩して財源に充てている自治体もあります。今実行することが全て子どもたちの将来にとって良いことかということ、そうでない場合もありますので、慎重に考えていきたいと思っています。ただ、こうした取り組みを行ってほしいといった声は積極的にお伺いし、その中でできること、できないことをしっかり見極めながら進めていきたいと思っています。
まちづくり全般	藤久保地域拠点施設	藤久保拠点開発の計画については素晴らしいと思っている。ただ、事業規模が97億円という大変大きな規模だということで、これがこの町の財政規模の中でどのぐらいの比率なのか、事業規模は妥当なのか。また、拠点が整備されて、便利になるところはあるが、問題は交通インフラ。立派な拠点が整備されても、なかなかそこに行けないような事態になっては意味がない。特に藤久保3区に共通するのは、道路の道幅が狭いこと。そういった今現在の住環境の整備なくして、拠点が本当に整備されるのか。重要な交通インフラ全般の整備がなされなければ、拠点が有効に活かされないのではないのか。この97億円の中に交通インフラを整備するような内容になっているならば、非常に効果的だと思うが、そのあたりはいかがか。	この97億円の中には、道路整備ということで、敷地東側の住宅に面している部分の歩道を2m分セットバックして、公道を整備する予定になっています。また、グラウンド予定地に今ある道路を廃止して、北側への付け替えに関する整備費も含まれています。ただ、藤久保拠点に至るまでの整備費は97億円の中には含まれていません。今後、施設にアクセスするための道路は、様々な条件はありますが、道路整備に関する補助金や交付金の活用を研究していきたいと考えています。
まちづくり全般	共生社会	本日のテーマには男女共同参画はなかったが、SDGsの中でも5番目にこれが入っているように、人口の半分を占める女性の活用や女性の意見は非常に大事だと思う。6月は男女共同参画週間ということで、藤久保公民館でLGBTについてのパネル展示を実施する予定になっているが、1回限りの展示だけでは周知が行き届かないと思う。町としてどのように捉えているか。さらに、学校の制服が変わるといった噂を耳にしたが、新しい制服を導入するにあたって、男女とも共通して着られるような制服にしてはどうか。パートナーシップをもう少し進めるためにはどうしたらいいか、町としての姿勢を伺いたい。	中学校の制服につきましては、各学校で制服検討委員会を立ち上げ、検討を進めております。三芳中学校では、令和5年度新入生より新しい制服を導入し、スカート、ズボンを選択制にするなど、男女とも共通して着用できるようになっています。他の中学校においては令和6年度の導入を予定しており、男女とも共通して着用できる制服を検討しております。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
自治・防犯・防災	自治会	<p>行政の施策実行にあたって、最終的に行政区の下にある自治会組織の取り組みにかかっていると思う。</p> <p>かつては行政区の中で自治会は8～9割の組織率であったため、非常に効果があった。防災の観点からも、自治会の役割は非常に大きいと考えている。しかしながら、現在は自治会をやめる人が増えていて、悪戦苦闘している状況。</p> <p>これからの状況の中で自治会に入っている人と入っていない人との区分の問題、財源の問題、今後起きるかもしれない災害対応に関する自治会のあり方、これらのことについて町長はどう考えているのか伺いたい。</p>	<p>行政区・自治会への加入率の減少は、三芳町だけでなく全国的にも大きな課題だと認識しています。高齢化が進み、役割を受けられない、加入者が抜けていく、負担が大きいといった課題がありますが、コミュニティの中で共に生きていくことは喜びや幸せがあると思っています。コミュニティの活動に喜びや幸せが見い出せられる、感じられるようなまちづくりが非常に大事だとも思っています。</p> <p>この2年間、コロナの影響で様々なイベントが中止になりました。振り返ると、そうした様々なイベントが人と人を結びつけていた部分はあったと思います。</p> <p>町長になって驚いたこととして、本当に多くの方が様々な活動をしているんだということがありました。様々な団体と自治会や行政がうまく結びつけられるような取り組みができるといいのではないかと考えています。</p> <p>町としても総合的に分析して、自治会組織の必要性を理解していただくだけではなく、実際に自治会に加入されていない方と自治会を結びつけるような仕掛けや事業を行っていく団体を紹介するといった支援が必要だと思っていますので、第6次総合計画の中にも大きな柱として入れていきたいと思っています。</p>
道路・交通	交通安全	<p>住宅が密集し道が狭いため、通行止めや一方通行など交通安全に力を入れてほしい。</p>	<p>通行止めや一方通行については交通規制となりますので交通管理者である警察の判断となります。また、規制を実施する場合は周辺住民の同意が必要であると警察より聞いておりますので、住民の利便性を考慮した場合は困難なケースが多いと思われます。町といたしましては、道路管理者として可能な交通安全対策を検討し、必要に応じて実施してまいりますので、具体的な要望箇所がございましたらご連絡をお願いします。</p>
まちづくり全般	藤久保地域拠点施設	<p>小学校エリア改装時に中学校も同一区画内にしてほしい。</p>	<p>令和3年3月に策定した公共施設マネジメント基本計画においては、多額の更新費用が予測される小中学校施設は、その更新時期の分散化を図ることで更新サイクルの実現性を高めていきますが、すべての学校施設の更新を果たしていくことは財政的にも困難であることから、少子化が加速する中で、児童数・生徒数の減少に合わせた統廃合の可能性を検討し、短期（2021年～2030年）、中期（2031年～2040年）、長期（2041年～2060年）と実施時期をわけて適正化方策を定めました。</p> <p>藤久保小学校につきましては、短期である2026年の供用開始を予定して、図書館や公民館、学童保育室等も含まれる藤久保地域拠点施設の整備に伴う複合化を進め、教育環境の質を高めるとともに適切な規模の確保を図ることとしております。</p> <p>一方、藤久保中学校につきましては、実施時期は長期（2041年～2060年）で三芳東中学校への総合の検討をすることとなっておりますので、藤久保小学校のエリアと同一区画に中学校を整備する予定はございません。</p> <p>公共施設マネジメント基本計画の計画期間は40年と長く、その間に社会情勢や財政状況等、様々な変化が予想されますので、中長期的な方針については必要に応じて修正を加えながら公共施設マネジメントを推進していきます。</p>
自治・防犯・防災	防災無線	<p>緊急事態放送が聞き取りにくい、内容をHPなどにも掲載してほしい。</p>	<p>防災無線におきましては、「聞こえづらい」と「うるさい」という相反した苦情が寄せられ、地域的な微調整は非常に難しいものとなっております。</p> <p>町では、「防災行政無線電話応答サービス」を行っております。町の防災無線で放送された内容を、ご家庭の電話や携帯電話で確認できるサービスです。通話料金は無料となっておりますので、ご利用いただけますようお願いいたします。</p>

分野	テーマ	質問内容	町の見解
まちづくり全般	まちづくり	50年後を見据え、自然と産業が共存したまちづくりをしてほしい。	令和4年～5年の2年間をかけて、令和6年から開始される第6次総合計画を策定していきます。その際には8年間だけの計画ではなく、その先を見据えて考える必要があり、プラネタリーバウンダリーの観点や、SDGs、ゼロカーボンなど世界規模の課題に対しても考えていかなければなりません。農・工・商のバランスがとれ、豊かな自然が残る環境の中で互いに補いながら共生できるまちづくりというのは、コンパクトにまとまっている三芳町だからこそできるのではないかと考えております。総合計画策定に向けて、多くの皆さんのご意見を参考にしながら、持続可能なまちづくりを目指していきたいと考えております。
道路・交通	歩道整備	散歩や買い物等に行く際、気軽に休憩できるベンチや休憩所などの設置をお願いしたい。イメージとしては、鎌倉街道のケーヨーデイツー裏周辺のベンチで、木陰があり、いつも多くの方がそこで休憩しているため、非常に和気あいあいとしている。そこまで大きいものではなくとも、ちょっとしたベンチがあって少し日を遮るような物があるとありがたい、という話を自治会の複数の方からいただいている。公園にもベンチはあるが、日差しが強かったり、買い物に行ったり散歩する中で通る場所に欲しい。藤久保4区は公園が少ない地域でもあるため、道路の端やちょっとしたスペースのある場所にベンチを置いていただきたい。	これまでに道路敷地へベンチを設置したケースとして、平成30年度に藤久保2区地域へ3基、令和3年度にみよし台地域へ2基と藤久保3区地域へ1基を設置した実績がございます。ただし、設置には十分な歩道幅員が必要となることから、設置可能な路線や箇所は限られてしまいます。今後ご要望を多くいただく場合は可能な範囲で設置を検討してまいります。なお、イメージとしてお伝えいただいた箇所についてはポケットパークとしてご利用いただいておりますので、道路に面しているものの公園施設となります。道路上へ日を遮る施設の設置は困難です。今回のご要望内容は公園を担当している都市計画課へも共有するようにいたします。
道路・交通	道路整備	鎌倉街道（町道幹線7号線）は具体的にあと何年ぐらいで整備される予定か。	昨年頃から本格的に整備を始めております。きっかけとしては、藤久保地域拠点施設が整備された際、そこへ行くためのインフラ整備が整っていないため、自転車や歩いて行く際に非常に不便であるというご意見をみよし台地域からいただきました。この拠点へのアクセスという問題については、埼玉版スーパーシティプロジェクトの中でも類似の構想がありますので、考えていきたいと考えております。目標としては、藤久保地域拠点施設が完成するまでに、みよし台通りまでの道を整備したいと考えております。ただし、地権者にご理解いただけないとやはり難しい部分もありますので、ご理解をいただければと思います。
まちづくり全般	人口	近隣の富士見市では600人程の人口増が見られるが、三芳町は残念ながら100人程の減少となっている。三芳町を魅力ある町にするためには、人口増も大切だと考えるが、具体的にどのような考えをもっているか。	第5次総合計画のまちづくりの将来像として、「未来につなぐひととまちみどり誇れる町」と明記しておりますとおり、まちづくりに「ひと」は不可欠な要素です。第6次総合計画の策定に向け、幅広い世代にとって住みやすいまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。また、町の人口増に向けては、マンション等の建設は現実的かつ効果的な対策だと考えておりますので、町としては今後も期待しているところです。
自治・防犯・防災	ブロック塀	危険なコンクリートブロック塀について、補助金を出す等して、町が主導で撤去の動きを加速してほしい。	令和4年4月1日より三芳町では、地震等により倒壊するおそれのあるブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、歩行者の安全を確保することを目的とし、ブロック塀等の撤去工事を行う者に対し、助成金を交付します。撤去工事につきましては、助成対象経費に3分の2を乗じて得た額またはブロック塀等の面積1㎡につき15,000円を乗じて得た額のいずれか少ない方の額とし、20万円を限度とします。築造工事につきましては、助成対象経費に3分の2を乗じて得た額またはブロック塀等の面積1㎡につき30,000円を乗じて得た額のいずれか少ない方の額とし、40万円を限度とします。なお、詳細な手続きにつきましては担当課の都市計画課開発建築担当にご相談ください。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
自治・防犯・防災	災害対応	先週の防災フェスタを実施し、消防署に起震車や煙体験をやっていただき、150人ぐらい来られて盛況だった。今後コミュニティの企画として防災は一つのテーマだと思っているが、町で震災等の災害があった場合、全町民が役場の下で直接支援を受けるわけではなく、行政区から支援を受ける流れになると聞いたことがある。今、町で地震等の災害が起きたときの行政区の位置付けをお伺いしたい。	東日本大震災までは、2市1町で防災訓練を持ち回りで実施しており、非常に原始的な防災訓練でした。これまでの訓練では実際に災害が起きたとき、自分たちでどういった流れで避難したら良いか分からないということがあり、連携避難訓練を行政区単位で行うようになりました。町としては一人ひとりの生命の安全を第一優先に考えていますが、支援を全体に行き届かせることは難しいと思うので、町、個人、行政区がパートナーシップを図ったうえで役割分担して対応しようと考えています。地域ごとで状況異なりますので、行政区での避難訓練等を通して、災害が発生した際のシミュレーションをしておくことが大事だと思っています。また、近所同士でお互いに助け合うためには町が情報提供を積極的にしていく必要があると思っています。今回の防災フェスタを行政区でやっていただいたことは、共助の観点からも非常に良いことだと思います。逆に地域住民の皆さんから要望がありましたら、お互いに話し合っただけで対応策を検討したいと思っています。
自治・防犯・防災	自治会	三芳野自治会は世帯数概数として250世帯で会員世帯が一番多いときには200に近い世帯が会員として登録していたが、今年度で110世帯程度まで減ってきている。自治会組織は微力ではあるが、まちづくりの一端を担う。他の自治体の優良事例などがあれば、教えていただきたい。もう一点、高齢化が非常に問題になっている。三芳野自治会も高齢者が増え、年齢の兼ね合いで自治会活動に関わりたくないということで脱退していくケースも目立ってきている。その一方で単身の高齢者や老老介護の状況にある家庭については自治会として把握していきたいと思うが、個人情報が大きな壁になっていて、必要な情報を把握することはできない。その点も何か方法があれば教えていただきたい。	大都市になるほど、行政サービスが薄くなりがちで、自治会、ボランティア団体、NPO等が必要となってくる傾向にあり、自治会加入率が高いというデータがあります。三芳町はコンパクトな自治体のため、自治体に加入してなくても、比較的サービスを受けやすいのも要因の一つと考えます。しかし、大都市を含み共通して加入率の低下は進んでいます。共通する問題点は、世帯規模の縮小や若い世代の未加入及び、地域ボランティアの担い手の減少が挙げられます。どの自治体でも、特効薬的な事例はなく、地域に則した方法を考えることが重要で、共通して言えることは地域集約機能の充実や、希薄になってしまった地域コミュニティを深めていくシステムを構築することが重要と考えています。個人情報の問題におきましても、開示してもらおうということではなく、やはり地域のコミュニティのなかで、自然に把握できることが理想であると思いますので、コミュニケーションを取りやすい体制づくりができれば、解決の糸口になると思いますので、行政と行政区と一緒に考えていきたいと思っています。
自然・公園	公園整備	子ども広場で子どもが遊ぶことに関して、ボール遊びは駄目だといった規制が多い。子どもたちはどこで遊べばいいのか。小・中学生でキャッチボールなどができる場所が全くない。そういった中でボール遊びは駄目だとむやみに言いづらいつころがある。令和の森公園の整備について説明があったが、子どもたちが休日や放課後遊べるところは作ってあげないといけないのではと考えている。車椅子を利用している息子がいるが、富士見市ではびん沼自然公園や水子貝塚公園、所沢市では航空公園もあるが、結局他の市町村に行かないとそういった場所が全くない。一度役場周辺も連れて行ったことがあるが、道がガタガタでグラウンドの奥には車が入れないようになっている。そのうえ車椅子も通れない幅になっている状況なので、これでは三芳町では運動ができない。	公園のバリアフリー化については、開発等に伴う提供公園においての指導を行っております。また、区画整理事業における公園整備の際には、段差を無くした出入口の設置や多目的トイレの設置を行っております。ボール遊びのできる公園については、役場東側の緑地公園に隣接した自然の森・レクリエーション公園があります。この公園は土日などの休日は、少年野球の大会等が開催され、一般の方のご利用はできませんが、平日は自由に野球やサッカー等のボール遊びができる広い公園となります。現状の公園整備では、公園や子供広場は、小さなお子様から高齢者の方々まで幅広い世代に利用していただいております。利用者の安全、安心を確保する観点から、野球・サッカー・ゴルフなど硬いボールの使用を禁止させていただいております。ただし、小さいお子様が遊ぶ柔らかいビニール製のカラーボールやまりり等での遊びは、他の利用者や近隣にお住まいの方々にご迷惑をかけない範囲であれば、ご利用できることとしております。

分野	テーマ	質問内容	町の見解
自治・防犯・防災	災害対応	<p>三芳野自治会という地域に限って、災害時における地域に適した具体的なマニュアルの作成を検討している。</p> <p>三芳野自治会の特性は、高齢者が多いことと、水害の心配はほとんどないということ。したがって、大規模火災または大地震を中心に考えたいと思っている。危険な箇所として気になるポイントが鉄塔。三芳野自治会の全ての住宅ではないが、一定の住宅の上に高い鉄塔と送電線が通っている。大地震の際の被害想定とどの程度安全性が確保されているのか、行政の方で情報を把握していれば教えてほしい。</p>	<p>送電線及び送電鉄塔につきましては、東京電力の管理となっておりますが、電力設備は、国が定めている電気設備の基準を遵守し十分な安全性・強度を確保し設置されています。</p> <p>送電設備も、強風に対しては、風速40m/秒の風圧に対して耐えられるよう設置しています。</p> <p>地震に対しては、電気設備技術基準における耐震強度が、最大震度7を記録した阪神・淡路大震災の調査・分析結果に基づいており、一般的な地震動には十分耐えられるものです。</p>
環境	苗木配布イベント	<p>配布している苗木の一覧の中にキョウチクトウがあった。キョウチクトウはかなり強い毒があって、ヨーロッパでは死亡事故も起きているので配布して問題ないのか懸念がある。</p> <p>また、今年はいも掘りまつりが中止になったとのことだが、行政区の中でイベントを検討するにあたって、屋外であればそこまで感染リスクがないのではと思っている。なぜいも掘りまつりが中止になったのか理由を伺いたい。</p>	<p>三芳町みどりあふれるまちづくり推進事業では、配布した苗木は住民自らの敷地内で管理育成していただく必要があるため、枯れにくく、害虫がつかない等、初心者でも比較的育成が容易になるよう考慮して推奨木を選定いたしました。</p> <p>しかしながら、リーフレットにも記載のとおりキョウチクトウに毒性があることは確かですので、申請をいただく際は毒性について十分にご説明をし、納得をいただいた上でお受けするよう徹底してまいります。また、併せて実際の受け渡しの際にも再度注意喚起するよういたします。</p> <p>なお、今回いただいたご意見を踏まえ、今後キョウチクトウを推奨木から除外することも検討してまいりたいと考えております。</p> <p>いも掘りまつりの開催は実行委員会の中で決めております。産業祭の中止が決定した中で、いも掘りまつりの開催は前向きに検討していましたが、農家の皆さんが堆肥を入れたり、畝を出したりしながら準備を進めていますので、実施可否はかなり早い段階で判断しなくてはならず、最終的に中止の判断となったようです。</p>